

用語解説

■ア行

➤ イノベーション

「科学的発見や発明等による新たな知識を基にした知的・文化的価値の創造と、それらの知識を発展させて経済的、社会的・公共的価値の創造に結びつける革新」と国の第4期科学技術基本計画において定義されている。

➤ ADL(Activity of Daily Living)

摂食・着脱衣・排泄・移動など、人間の基本的な日常生活動作。高齢者や障がい者の身体活動能力の程度を表す際に用いられる語。

➤ 温室効果ガス

大気中の赤外線を吸収し、地表付近の大気を暖める効果をもつ気体。京都議定書(気候変動枠組条約に基づき1997年12月11日議決)では、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン類、パーフルオロカーボン類、六フッ化硫黄の6つの気体が対象になっている。

■カ行

➤ 開放特許

特許権者が他者に開放(ライセンス契約、譲渡など)する意思のある特許。

➤ カルタヘナ法

遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律(平成16年施行)のこと。

平成12年に国連で採択されたカルタヘナ議定書の我が国における実施のため制定された。

遺伝子組換え生物等が我が国の野生動植物等へ影響を与えないよう管理するための法律。

➤ 科学技術コミュニケーション

科学技術について、科学者から一般の人々にその内容を分かりやすく伝えるとともに、一般の人々の疑問や意見を科学者に伝えるという、双方向の対話活動のこと。

➤ 科学技術リテラシー

科学技術に関する基礎的な素養のこと。本来、リテラシー(Literacy)とは読み書き能力のこと。

➤ 官園

開拓使が北海道及び東京府に設置した農業に関する試験・普及機関のこと。本州とは気候が異なる北海道で、欧米の技術が導入され試験された。

➤ 技術シーズ

研究開発や事業化、実用化を推進していく上で必要となる技術の「種」のこと。

➤ 機能性食品(食材)

人間の健康、身体能力、心理状態に好ましい影響を与える働きが科学的に明らかにされ、これらの生体調整機能を十分に発現できるように設計・加工された食品(食材)。

➤ クラスタ

本来「(ブドウなどの)房」という意味。経済用語としては、技術・生産・研究・人材教育・資金・情報等を提供する機関がぶどうの房状に連結・集積していること。

➤ グリーンイノベーション

エネルギーの安定確保と気象変動問題に対応するため、環境・エネルギー技術の一層の革新を促すとともに、長期的に安定的なエネルギー需要構造の構築と世界最先端の低炭素社会の実現

などを目指す取組のこと。

国の第4期科学技術基本計画(H23～27)において我が国の将来における成長と社会の発展を実現するための主要な柱として位置付けられている。

- 研究開発支援機関
研究資金の提供、研究成果の普及啓発、産学官連携のコーディネート、共同研究プロジェクトの管理等を行う機関。
- 健康科学
「食」素材の探索・分析、機能解析・評価などに関する科学、「食」素材の消化機能や栄養機能の作用メカニズムなど食品・栄養に関する科学、「食」素材の生産・加工に関する科学などの総称。
- 健康寿命
人生の中で健康で障がいのない期間(支援や介護を要しない期間)。
- コアレスモーター
回転子(ロータ)に鉄心がないモーターのこと。鉄心がないことからロータは軽く、慣性モーメントが小さいため、応答性、加速性に優れている。
- 公的需要
政府最終消費支出、公的固定資産形成、公的在庫増加を合わせたもの。

■サ行

- サイエンスカー
昭和46年から、北海道が地域の青少年の科学に対する関心を高めることを目的に実施している移動理科教室に用いる科学実験機器を搭載した車両。
- サイエンスカフェ
講演会やシンポジウムとは異なり、科学の専門家と一般の人々が、コーヒーを飲みながら科学について気軽に語り合う場をつくる試み、イベント。
- サイエンスパーク
科学技術の未来を担う子どもたちが科学技術に親しみ、体験できるよう道が関係機関と連携して開催するイベント。例年小学校の夏休みに実施している。
- サイエンスパーク in 北海道大学総合博物館
本道の未来を担う子供たちに、科学技術への関心を高めてもらうため実施する「見て、触れて、楽しんで、学ぶ」ことができる「体験型の交流イベント」(北海道大学総合博物館と共同で開催)。
- 再生可能エネルギー
エネルギー源として持続的に利用することができるものと認められるもの。
「エネルギー供給事業者による非化石エネルギー源の利用及び化石エネルギー原料の有効な利用の促進に関する法律」に太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱、大気中の熱、その他の自然界に存する熱、バイオマスが規定されている。
資源が枯渇せず、繰り返し使え、地球温暖化の原因となる二酸化炭素をほとんど排出しない。
- 産業支援機関
創業支援、事業資金・設備投資資金の貸付、ビジネスマッチング、販路開拓、経営革新、新事業展開など企業の経営支援等を行う機関。
- GPS(Global Positioning System)

全地球測位システムのこと。

人工衛星を利用して、地球上の何処に居るかを正確に割り出すシステム。

- 持続可能
人間活動、特に文明の利器による活動が、将来にわたって持続できるかどうかを表す概念。特に環境問題やエネルギー問題について使用されることが多い。
- 食のバリューチェーン
本道において、生産から加工、流通、販売に至る事業者間の連携の強化、拡大を図り、本道の優位性のある農水産物及びそれを活かした付加価値の高い食品を創造し、国内はもとより海外への販路を拡大していくこと。
- 人獣共通感染症
世界保健機関(WHO)では、脊椎動物と人の中で自然に移行する全ての病気または感染と定義している。
- 3R(スリーアール)
Reduce(リデュース:発生抑制)、Reuse(リユース:再使用)、Recycle(リサイクル:再生利用)の頭文字を取ったもので、一般にこの優先順位に配慮して取組を進めている。
- 青少年のための科学の祭典
公益財団法人日本科学技術振興財団等が主催する理科や数学あるいは、科学技術といった分野の実験や工作を一同に集めて来場者に楽しんでもらうイベント
- ゼロエミッション住宅
環境負荷を極力小さくするように設計された住宅。エネルギー源、エネルギー消費、施工材料、工法などの工夫により二酸化炭素の排出、廃棄物量を抑制する。
- センサーアイランド
気候変動の影響を的確に把握できる「環境センサー」を多く持つ本道の環境が持っている機能のことで、道内において北限であるブナ林の分布域や流氷の接岸範囲、高山植物の開花時期など、様々な観測が実施されている。

■ 夕行

- 大学発ベンチャー
大学や公的研究機関等の研究成果を基にして起業したベンチャー企業。
- 地域団体商標
「地域の名称＋商品又はサービスの名称」からなる商標であり、取得した事業協同組合、農業協同組合、漁業協同組合などの団体が構成員(組合員)に使用させることができる。ただし個人や企業は取得できない。
- 治験
一般には、医薬品や医療機器の製造販売承認を得るために行われる臨床試験(別掲)をいう。
(薬事法における定義については、同法第2条第16項において規定されている)
- 治験コーディネータ(CRC) (Clinical Research Coordinator)
臨床試験(別掲)における各種コーディネート業務に携わる者。患者へのインフォームドコンセント、治験参加者のスケジュール管理や精神的ケア、臨床試験に携わるチーム内の調整、症例報告書の作成などを行い、特に患者とのコミュニケーション能力が求められる。

- 知的財産
知的財産基本法第2条第1項で「知的財産」とは、発明、考案、植物の新品種、意匠、著作物その他の人間の創造的活動により生み出されるもの（発明又は解明がされた自然の法則又は現象であって、産業上の利用可能性のあるものを含む。）、商標、商号その他事業活動に用いられる商品又は役務を表示するもの及び営業秘密その他の事業活動に有用な技術上又は営業上の情報をいう。」と定義されている。
- 知的財産マインド
知的財産に関する関心・意識。
- データマネージャー
臨床試験（別掲）におけるデータマネジメント業務に携わる者。試験の実施に当たり、データベースの構築、データミスの予防、試験結果を公表する際の支援等を行う。
- 道産食品独自認証制度（きらりっぷ制度）
平成16年度から北海道で実施している、道産食品に対する消費者の信頼性確保と北海道ブランドの向上を図る目的で、北海道の豊かな自然環境や高い生産技術を生かして生産される安全で優れた道産食品の認証制度のこと。
- 特許流通サポーター
技術導入・技術移転を支援するとともに、開放特許の情報や活用例等の特許流通についての相談に対応するため、北海道が配置した専門家。

■ハ行

- バイオエタノール
さとうきび等の糖質原料、とうもろこし等のでんぷん質原料、稲わらや木材等のセルロース系原料を発酵・蒸留して生成されるエチルアルコールのことで、燃料として利用される。
- バイオマーカー
体内の生物学的変化を定量的に把握するため、生体情報を数値化・定量化した指標。HbA1c、HDL、LDL、TG など。
- バイオマス
家畜ふん尿、稲わら、食品廃棄物、林地残材（森林を伐採した後、一般的には価値が低いために搬出されずに残された枝、葉、樹木の先端部分などの材）、などの再生可能な生物由来の有機性資源（石炭や石油などの化石資源を除く）。
- バイオマスタウン構想
バイオマス・ニッポン総合戦略（地球温暖化防止、循環型社会形成、戦略的産業育成、農山漁村活性化等の観点から、バイオマスの利活用推進に関する具体的取組や行動計画を定めたもので、平成14年12月に閣議決定。）の中で打ち出された構想。同戦略は、地域で効率的にエネルギーを利用する「地域分散型」体制の重視から、地域の実態に合わせて本格的な生産と活用が行われる地域を「バイオマスタウン」と称している。
- 橋渡し研究（ライフサイエンス（別掲）における）
ゲノム科学や再生医学等から生み出される先進的な研究成果を実際にヒトへ応用することを目指す研究。
- 半導体PET

検出器に半導体を用いるPET(Positron Emission Tomography:ポジトロン断層撮影法)装置で、検出ノイズが少量であるなど従来のものより性能が高い。

- 東日本大震災
平成23年3月11日に発生した、マグニチュード 9.0 の東北地方太平洋沖地震とそれに伴って発生した津波、その後の余震により引き起こされた大規模地震災害。
- ビジネスインキュベーション施設
新製品・新技術の研究開発や新分野への進出を目指す中小・ベンチャー企業等を支援するための賃貸型事業施設。
- 付加価値率
ここでは企業経営における付加価値を指す。企業が、外部から購入した財やサービスに対し、自社の経営活動を通じて新たに付け加えた価値であり、付加価値率は売上高に対する付加価値の割合である。
- 賦存量
エネルギー資源等に有効活用されているものと未利用のものを合わせた量。供給可能量。
- プロジェクトマネージャー
プロジェクトの計画と実行において総合的に責任を持つ者。プロジェクトの進行をまとめる役割を果たす。
- ヘルスイノベーションカレッジ
平成24年度から、ノーステック財団で実施している道民の健康の維持・増進、健康回復、疾病予防といったヘルスイノベーションを創造する人材や道産の機能性食材を利用した新食品開発を通じて、食の機能を積極的に活用して食産業の振興に貢献できる人材の育成を目的とした講座のこと。
- ヘルスツーリズム
自然豊かな地域を訪れ、そこにある自然、温泉や身体にやさしい料理を味わい、心身ともに癒され、健康を維持・増進・回復する新しい観光。温泉療法、森林療法、海岸療法など。
- 冒認出願
特許権や商標権、意匠権などに対し、出願する権利のない者がした出願。
- 北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会
平成15年3月、北大リサーチ&ビジネスパーク構想を推進するために設置された協議会。当初、北海道大学、北海道、札幌市、北海道経済連合会、経済産業省北海道経済産業局、国土交通省北海道開発局及び(財)北海道科学技術総合振興センター(ノーステック財団)の7機関により北大リサーチ&ビジネスパーク構想推進協議会として設置され、平成16年4月には、(独)科学技術振興機構JSTイノベーションプラザ北海道(当時は研究成果活用プラザ北海道)、(独)産業技術総合研究所北海道センター、北海道ティー・エル・オー(株)及び日本政策投資銀行北海道支店が加わり、平成22年7月には、北海道立総合研究機構が加入し、12 機関に拡大。平成19年4月に名称変更し、現在に至る。

■マ行

- メガソーラー
出力1メガワット(1,000キロワット)を超える大規模な太陽光発電施設のこと。

➤ メタゲノム解析

環境中の微生物を調べるためには、環境中から微生物を取り出し培養することが必要であったが、微生物のほとんどは人為的な培養が難しかった。このため、培養という過程を経ずに、環境中の微生物のDNAを全て抽出・収集し、これらの構造(塩基配列)を網羅的に調べると、環境中の微生物の集合体が持つ遺伝子群を知ることができる。このような手法のこと。

➤ モニタリング調査

調査対象となる施設などの環境への影響を継続的に調査するもの。

■ラ行

➤ ライフサイエンス

生命科学。生物学・医学・物理学・化学・工学などの諸分野にわたって、生命現象を研究する科学の総称。

➤ ライフイノベーション

国民が心身ともに健康で、豊かさや生きていることの充実感を享受できる社会の実現に向けて、医療・介護・健康サービスなどの産業を創出、活性化するとともに、先進諸国が直面する高齢化社会への対応や発展途上国に蔓延する疾病に対し医薬品、医療機器の開発等を通じて国際貢献を目指す取組のこと。

国の第4期科学技術基本計画(H23~27)において我が国の将来における成長と社会の発展を実現するための主要な柱として位置付けられている。

➤ リスクコミュニケーション

リスクに関する正確な情報を、行政、専門家、企業、住民などの関係主体間で共有し、相互に意思疎通を図ること。合意形成の一つ。

➤ レアアースレスモーター

レアアース(希土類)磁石を使わない駆動用モーターのこと。

➤ 臨床試験

医学における介入研究であり、新しく開発する医薬品や医療機器の効果や安全性などを調べるための試験。(「治験」参照)

■ワ行

➤ ワンストップ(サービス)

一箇所の窓口、あるいは一度の手続で、必要とする関連作業をすべて完了させられるように設計されたサービス。